

平成29年度（公財）伊藤青少年育成奨学会
スポーツ振興支援事業・地域振興支援事業 被支援団体

① スポーツ振興支援事業（県内の高校・特別支援学校運動部およびスポーツイベントへの助成）

（単位：万円）

No.	学校名	部名	備考	支援額
1	岐阜	水泳部	学校にプールはないが、週3回メモリアルセンターのプールで練習に励んでいる。練習を工夫し、東海総体の出場を目指している。また、人間性を高めるため、障害者水泳選手と合同練習を行ったり、借用施設の清掃ボランティアを行っている。	8
2	県立岐阜商業	卓球部	3年前までは女子がインターハイ4年連続出場、全国選抜大会3年連続など実績を残してきたが、部員の減少とともに戦績も振るわなくなってきた。部を立て直すため心を育てる指導と共に練習の工夫を行っている。	50
3	各務原	ラグビー部	ラグビー部は創部44年目を迎え、平成26年度には県総体で決勝に進むなど県で戦えるようになってきた。卒業生には、ラグビーを継続する生徒もおり楽しさを伝えることもできてきた。	100
4	岐阜工業	陸上競技部	これまで、東海総体出場の実績がある部である。今年度は、地域の方を対象とした陸上教室を開催する予定。特に、小中学校生徒たちを中心とした部員による指導を通し部員の心身の向上を図っている。	56
5		ラグビーフットボール部	部員によるグラウンドの芝生化を行い整備している。安全にスポーツを行うことが可能となり良い練習もできるようになった。近年では、県新人戦の優勝や7人制大会で県予選で優勝できるようになってきた。	83
6	揖斐	フェンシング部	少子化の影響で年々新入部員が減ってきており、部員の確保が急務になってきている。5年前から夏休みに地元小中学生を対象にした教室を行っている。その成果もあり興味を持つ生徒が増え部員数も少しずつ増えてきた。	50
7	大垣北	剣道部	毎年、難関大学に多くの生徒が進学する学校だが、部活加入率は90%を超え、文武両道を実践している。剣道部も学問、部活動の両立に励んでいる。	70
8	大垣西	硬式野球部	平成23年には、21世紀枠の出場を逃したが、力がついてきている。これから、グラウンド改修で週3回のグラウンド練習ができなくなるが、練習を工夫し心身の向上を目指した指導を行っている。	41
9	大垣商業	剣道部	近年の公式大会では団体戦3位までしか届いていない。剣道を通し、自己を厳しく鍛え磨き、広く産業社会に貢献できる人間の現実を目指し鍛錬している。	47
10	東濃実業	硬式野球部	現在、古豪復活を目指して練習に励んでいる。約25年前には、常にベスト8～4の常連だった。何とか県大会でも戦えるチーム、地域の方に応援してもらえるようなチーム作りを目標にしている。	75
11		バスケットボール部	練習は、水曜日を除いて毎日頑張っているが、他の部活動が体育館を使用するため、男女で半面を使い一緒に練習を行っている。地元の小中学生と技術講習会を行ったり、地域の行事の参加や、明知鉄道の清掃活動を行い人間教育にも力をいれている。	23
12	可児工業	ラグビー部	少子化や中学校に部活がないため、部員確保に苦労している。それでも何とか単独チームで大会出場し、学校の活性化にも貢献している。ここ数年は、上位チームとの対戦は100点差で負けてしまうが、日々努力し鍛えている。	57
13	多治見北	陸上競技部	進学校として文武両道を目指している。平日は、補習やグラウンドの使用が制限される。しかし、昨年度の県新人戦、女子200mで入賞するなど結果を残せるようになった。	100
14	多治見工業	硬式野球部	「集中・同調・感謝の心」をテーマに活動。毎朝の地域清掃、老人ホームでの清掃、地域幼稚園での交流を通し、豊かな心の育成を目指している。今後も活動を継続し、地域の方に応援してもらえるようなチームを目指している。	99
15	中津商業	陸上競技部	地元出身の中学生と高校から始める生徒が多く在籍する。一昨年は、全国高校総体の混成競技で5位入賞を果たした。	83
16	飛騨高山	陸上競技部	駅伝好きな生徒が入部し、高い目標を掲げて練習している。昨年の県駅伝では、男子6位、女子4位と2年連続で男女そろって東海駅伝に出場することができた。日々、生徒の成長が感じられる。	43
17	飛騨神岡	スキー部	昨年、10年ぶりに全国大会入賞者を排出することができた。今年度、岐阜県で開催されるインターハイに出場できるように高い志を持って活動している。	40

No.	学校名	部名	備考	支援額
18	市立岐阜商業	陸上競技部	投てき種目において、県では高い競技力を持ち、全国大会優勝の実績がある。日本陸連のU20オリンピック育成競技者に選出されている選手が在籍している。U18世界選手権の出場を目標にしている。	40
19	関商工	ラグビー部	ラグビー未経験者が8割を占めるが、一昨年は全国でベスト16となり、日々の努力と本番で力を発揮できるようになってきた。生徒が主体的に取り組む姿勢が出てきた。	100
20		卓球部	至誠明朗の校訓のもと、卓球部も活動している。毎年、全国大会へ出場している。卓球人口が減少してきているが、練習の効率化を工夫するなど活発に活動している。	40
21	岐阜聾	陸上競技部	グラウンドが直線で50mしか取れないが、全国聾学校大会での上位入賞、全国障害者スポーツ大会での入賞を目指し日々の練習に励んでいる。また、より広い視野を持てるように様々な大会に参加している。	73
22	岐阜清流高等特別支援	卓球部	この4月に岐阜県初の職業教育に特化した知的障害の高等部単独の学校として開校した。卓球を通じて体力の向上と職業生活に必要な自己統制力、コミュニケーション力を育成している。東京パラリンピックへの出場を目標に頑張っている。	80
23	鶯谷	男子ハンドボール部	部員の半数以上が未経験者だが、ハンドボールに対する思いは強く、日々熱心に取り組んでいる。活動を通して、生徒の心身の成長を感じる。目標は、地区予選を突破して県大会の出場を果たす。	10
24	富田	男子卓球	毎年、全国大会への出場を果たしている。昨年は、全校選抜大会で男女ともベスト16になった。今年も、団体戦の全国大会ベスト4以上の成績を上げるよう活動している。	50
25	岐阜聖徳学園	スポーツライミング部	国内、アジア、世界大会へ向けて、安八町のスカイウォールを利用し練習に励んでいる。直近では、日本ユース選手権に男女出場し、女子が優勝した。2020東京オリンピックを目指している。	100
26	岐阜第一	女子バレーボール	昨年度より男女共学になり女子バレー部が創部された。活動を通じて、「人間力の養成」「感謝の心」「質の高い選手」を目指している。昨年は1年生チームながら県大会ベスト4の結果を出している。今後は、全国大会出場を目標に日々努力している。	76
27	美濃加茂	駅伝部	「潜在能力を最大限に引き出す」ことを念頭に、効果的なトレーニング方法の確立と心の指導を実践している。また、科学的なトレーニングを取り入れ、昨年度は県高校駅伝において、男子3位、女子2位と確実に力をつけている。	50
28	帝京大学可児	男女バドミントン部	7年前から活動が活発になり、レベルも上がってきた。部員数も増え、男女各21名、合計42名になった。現在は、全国大会出場を目標に努力している。	23
29	麗澤瑞浪	女子バレーボール	現在、部員は9名と少ないが、毎日元気に活動している。目標は、東濃地区で優勝するために、各自が大きな声を出し合い積極的に取り組んでいる。	19
30		卓球部	勉強との両立を図るため、部活の時間とのバランスを考えながら活動している。部員は25名おり、集中した練習ができています。今年度は男女団体で県大会ベスト8以上を目標にしている。	43
31	中京学院大中京	弓道部	現在、男女13名の部員で活動している。第71回国体では、近的で優勝、遠的で準優勝と「チーム岐阜」の得点に貢献できた。これまでも全国大会で優勝実績があり、生徒が自信を持ち積極的に練習に励んでいる。	63
飛騨地区陸上競技協会(陸上競技技術講習会の実施)				25
岐阜県ラグビーフットボール協会(各大会、イベント利用AED等の購入)				100
岐阜ラグビースクール(幼児から小中学生を対象の教室の実施)				100
モンデウススキー大会実行委員会(小中学生対象の大回転競技大会の実施)				64
恵那市陸上競技協会(恵那市ジュニア記録会の実施)				10
合 計 (26校・31運動部+5スポーツイベント)				2,091

② 地域振興支援事業（県内の高校・特別支援学校文化系部および地域振興イベントへの助成）

（単位：万円）

番号	学校名	部名	備考	支援額
1	岐阜	自然科学部	岐阜市内のカスミサンショウウオの保護活動を基軸に、岐阜県の生物の多様性を守る活動を展開している。大学などの研究機関と積極的に共同研究するとともに、学会発表を多く行っている。昨年度、第47回社会貢献者表彰、佐野市田中正造記念賞大賞を受賞した。	100
2	岐山	生物部	岐阜市内の論田川の調査で見つけた琵琶湖固有種のカワニナの種の同定に関して、稚魚の染色体の核型に着目した実験を行っている。また、小学生を対象とした国内外来種問題の普及・啓発活動にも取り組んでいる。	100
3	加納	吹奏楽部	夏の吹奏楽コンクール及び冬のアンサンブルコンテストでの上位大会出場、東海大会出場を目標として活動している。この1年で部全体が活気づき、今年は4年ぶりの演奏会を開催した。	73
4		演劇部	支えてくださった方々に感謝の気持ちをもって、屋外公演や外部公演など新しいことにどんどん挑戦していき、全国大会1位を目指す。昨年度は中部日本高等学校演劇大会で1位となり、今年度の全国高等学校総合文化祭に中部地区代表として出場予定。	21
5	県立岐阜商業	茶華道部	こころとからだを整え、礼節ある人格を作ることを目指し、お茶は茶道表千家、お花は華道池坊、数年前からフラワーマネジメントにも取り組む。各種花展、地域の文化祭のお手伝い、海外研修では交流先高校でお点前披露、海外からの訪問時にはお茶会も催している。	16
6	池田	演劇部	地域に根ざし、観客の皆様にも愛される活動を目指して、地元の公民館での公演や各種大会へ積極的に参加している。昨年度は、中部日本高等学校演劇大会や春季全国高等学校演劇研究大会に出場した。	100
7	大垣北	演劇部	中部日本高等学校演劇大会出場に向けて、日々個々の技術の向上、演劇の資質向上を目指して鍛錬している。部員のほとんどが演劇初心者であるが、勉強との両立を図りつつ、効率的に練習しようと日々励んでいる。	21
8	大垣南	オーケストラ部	県内高等学校唯一のオーケストラ部として活動し、弦楽器志望者が1年生部員の半数を占める。今年度の全国高等学校選抜オーケストラフェスタに8年連続で出場を予定。他にも、年1回の定期演奏会や特別支援学校などでの演奏会にも参加している。	80
9	大垣工業	情報技術部	ジャパンマイコンラリー大会に取り組んでから、5年連続全国大会に出場し、過去全国大会ベスト4をはじめ、各大会で上位入賞を果たす。今年度は、東海地区大会優勝、全国大会優勝を目標に、技術力向上に取り組んでいる。	40
10	大垣桜	ファッションデザイン部	部活には、服飾デザイン科の生徒が多く在籍する。実習や検定が多く、練習時間を確保することが難しい状況の中でも、デザイン画コンテスト、製作部門において「優勝」をモットーとして、向上心をもって活動している。	75
11	不破	自然化学部	学校付近の南宮山に生息するニホンジカによる農林業への被害拡大に問題意識をもち、ニホンジカに対する密度管理の指標作成、地域の鳥獣対策への貢献を目標に活動している。今年度は、日本生態学会と日本森林学会での高校生ポスター発表で優秀賞を目指す。	99
12	東濃実業	吹奏楽部	県吹奏楽コンクール7年連続金賞、3年連続岐阜県代表を獲得している。各種大会への出場や定期演奏会に加え、地域との連携に力を入れており、近隣の学校とのジョイントコンサート、学校・地域・各種施設等からの依頼による演奏参加に積極的に取り組んでいる。	100
13	可児工業	電気システム部	部活動（ものづくり）を通して地域社会に貢献できる産業人の育成に取り組む。地域イベントで小中学生などにもものづくりのおもしろさを伝える製作体験の活性化とともに、昨年度全国優勝したジャパンマイコンラリーに加えて相撲競技やロボット競技への参加も目指す。	60
14	多治見	吹奏楽部	部訓である「心響輝音」（心に響く輝く音）を目指し、夏の岐阜県吹奏楽コンクールでの金賞・東海大会出場を目標に日々活動をしている。地域との関わりを大切に考え、成人式等の市の行事での演奏、地域の子供を対象にした楽器体験教室などで幅広く交流を重ねている。	90
15	土岐商業	吹奏楽部	「人の和 即 音の和」をモットーに、毎年、小・中学校、地元企業からの依頼演奏や地域のイベントなど多くの場で演奏をしている。今年度は、吹奏楽コンクールでの東海大会出場、地域での演奏活動をより充実したものとすることを目標に、日々の練習に励んでいる。	60
16	恵那南	吹奏楽部	老若男女問わず、吹奏楽の魅力伝えていけるバンドを目指し、今年度も県大会金賞、東海大会出場を目標に日々練習を積んでいる。コンクールやコンテスト等の大会出場だけでなく、明智・岩村周辺でのお祭りやイベントで演奏するなど、地域貢献にも積極的である。	100
17	益田清風	吹奏楽部	「気付く、揃える、築く」を目標として、演奏以外の場面でも自ら進んで行動し、よりよいものを創り上げていこうと活動をしている。夏のコンクールや冬のアンサンブルコンテストへの出場のほか、地元での依頼演奏活動も積極的に行っている。	100
18	斐太	吹奏楽部	昨年度は、岐阜県アンサンブルコンテストで金賞を受賞、東海大会、中部日本個人重奏コンテスト本大会に出場した。今年度は、吹奏楽コンクールでの東海大会出場、アンサンブルコンテストでは2団体東海大会、中部日本個人重奏コンテスト本大会出場を目標に置く。	98
19	飛騨神岡	ロボット部	日本で最大の二足歩行ロボットの大会ROBO-ONEでの優勝と、韓国で開催される国際大会への4年連続出場と優勝を目指している。小中学校や地域の公共施設でロボット講座やデモンストレーションを行い、地域を活性化するボランティア活動に取り組む予定である。	50

番号	学校名	部名	備考	支援額
20	関商工	書道部	年間を通じて、個人作品の制作とパフォーマンスの準備を行っている。書を通じて、自分と向き合い、自分の心と体をコントロールし、他の人に感動を与えられるような作品を作って県大会で優秀賞をとり、全国大会に出展できることを目指して取り組んでいる。	15
21	岐阜聾	太鼓部	校内の発表だけでなく、地域のイベントでの発表や岐阜県高等学校総合文化祭民俗芸能発表会に参加している。少人数ではあるが、一人ひとりの意識は高く、目標に向け努力を惜しまずに取り組んでいる。今年度は日本吃音・流暢性障害学会にて発表を予定している。	76
22	可茂特別支援学校	音楽部	「歌唱」、「身体表現」、「器楽」、「鑑賞」と多岐にわたって活動し、生徒たちは繰り返しの練習を楽しそうに行っている。音楽を通じて、さまざまな感性を見だし、集団で取り組むことによって、自分を見つめ、自分の存在を確認し、自分が在ることの意味を感じ取っている。	100
23	鶯谷	地歴サークル部	郷土研究、鉄道ジオラマ作成等を通して、岐阜県内の魅力を伝えようと、日々研鑽に励んでいる。今年度も、全国大会への出品、研究会や大会での上位入賞を目標とする。公的機関や商業施設からの展示依頼も多く、部員も熱心に活動している。	12
24	済美	ブラスアンサンブル部	「一音心奏」(一つの音に心を込めて奏でる)を目指し、聞いてくださる方の心に素敵なハーモニーが届けられるよう日々練習に励んでいる。各種コンテストへの出場に加えて、地域での演奏、学院創立100周年記念式典に向けた大学との合同練習等に取り組んでいる。	62
25	高山西	ウインドアンサンブル部	人間的な成長を目標とし、音楽を通じて地域社会への貢献と技術の向上をはかり、全国大会出場を果たせるよう意欲的に活動している。飛驒の小中学校や特別支援学校との交流や訪問演奏、演奏指導等を行っている。昨年度、全日本高等学校吹奏楽大会に出場した。	100
恵那の里次米みのりまつり実行委員会(お田植え祭、抜き穂祭、献納行列、お米の楽市、薬師寺、天武天皇陵次米献納)				100
第45回東海四県言語・聴覚・発達障害児教育研究大会岐阜大会、第34回岐阜県特別支援教育研究大会 県大会西濃大会 実行委員会				10
岐阜言友会(第31回言友会中部大会in飛驒高山の開催)				10
県立恵那農業高等学校 HEBO倶楽部(東濃地域の食文化保存事業(ヘボ文化の伝承活動))				100
合 計 (2 4 校・2 5 文化系部 + 4 地域振興団体)				1,968